

龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO 活動センターの活動をご紹介します情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO 活動センターの活動を知っていただきたい！ボランティア活動に参加していただきたい！そんな思いが込められています。

## 《東日本大震災復興支援関連報告》 2013年11月以降

### ■11/15（金）～11/18（月）第3回東日本大震災復興支援ボランティア

#### 『龍大生31人が見て、聞いて、感じた石巻市雄勝』

継続支援を行っている宮城県石巻市雄勝を訪ね、今年度の3回目は『おがつ店こ屋街2周年記念祭』のボランティアに行ってきました。会場のテント張り、ステージ設営、フィリピン水害の募金受付窓口、抽選会場係、みこし担ぎ、餅まきなどの運営補助と、龍大ブース（京都の物産販売、喫茶コーナーでの接待、ゲームコーナーの運営、匂い袋や念珠の手作り体験など）に取り組みました。



おがつ店こ屋街2周年記念祭の会場に到着し、さっそく会場設営にとりかかる

#### ＜協賛企業名と品名＞

- (株) 松栄堂：匂い袋
  - (株) 長谷川松壽堂：和紙
  - (株) 一保堂茶舗：ほうじ茶
  - (株) 井筒八ッ橋本舗：八ッ橋、生八ッ橋
  - (株) 西利：漬物
  - (株) くろちく：和雑貨
  - (株) 井筒法衣店：念珠、念珠ケース
  - 今西製菓(株)：あめ
  - 龍大伊達ゼミ：煎茶「雫」
- ありがとうございました。



おこしやす！京都の物産をお届け



ふれあいのひととき お話を伺う



大川小学校を見学



町役場職員から震災直後の話を聞く



みこしを担いで祭りを盛り上げ



匂い袋や念珠づくりの体験コーナー

## ■12/3 (火) 第3回東日本復興支援ボランティア活動報告会 (瀬田キャンパス)

龍大生、教職員約40名の参加。ボランティア活動に参加した学生が、被災地での活動を報告しました。今回の活動には、雄勝を訪れるのが2回目、3回目という学生が複数入っており、1回目の活動と比較した上での率直な感想が聞かれました。報告会のあとは、ざっくばらんに語り合う交流会を実施。旅館でのひとこま、早朝の海の風景など、ビデオを観ながら、思い出話に花が咲きました。



## ■12/6 (金) 『ガレキとラジオ』上映会 (深草・瀬田両キャンパス)

本学経済学部出身の山国秀幸氏がエグゼクティブプロデューサーをつとめる映画「ガレキとラジオ」の上映会と、講演会を開催しました。この映画は、南三陸町で立ち上がった全員素人の小さなラジオ局が起こす奇跡の物語です。

瀬田キャンパスでの上映会は、150名の学生・教職員が参加。フィクションではない、人々の生の悲しみ、苦しみが画面から感じられ、多くの学生が涙を流していました。

深草キャンパスでは、映画の前後に山国さんご本人からお話を聞き、上映会終了後も場所を移し交流会を行いました。映画を観た60名のうち35名が参加。山国さんから、制作時のご苦労や後日談をお聞きし、充実した時間を共有することができました。学生からは以下のような感想が寄せられました。

- ・全員素人で、全員被災者なのに、まちを元気づけようとしている姿がすごくて尊敬した。最近ではもう震災関連のニュースなどテレビでなくなったが、今もなお被災した方たちは頑張ってるのだと知って、これからは震災を忘れないでいようと思った。
- ・被災したスタッフがゼロから始めたラジオ局に勇気づけられた町民へはたくさん内側から「がんばっぺ」という声が届けられることは、大きなことだったのではないかと。
- ・喜怒哀楽の感情がはっきりと出ていて感情移入することが度々。今までのどんなメディアよりも身近に震災を感じることができた。



## ■12/14 (金) 復興支援フォーラム『和合亮一氏講演会』(深草キャンパス)

最初に、龍谷大学交響楽団4重奏の「G線上のアリア」の生演奏をバックに、センター学生スタッフが和合さんの詩を気持ちを込めて朗読しました。和合さんのお話は、地震発生当時の生々しい体験から、子どもを放射能から守るために奔走したことや、ツイッターで福島の様子を発信するに至った経緯など、聞く者の心を動かす真に迫ったお話でした。多くの人とつながった経験となったという2011年12月4日の「万人の第九」での「高台へ」の詩の朗読は音楽と映像で紹介いただきました。そして、福島を静かに、強く、大きく、私たちの魂を揺り動かすように語られました。会場は、和合さんの心と詩により確かにつながり、これからの日本をになう若者の心にその思いは刻まれました。



震災からもうすぐ3年になります。一人ひとりが真剣に考えなくては、風化は止まらないでしょう。

龍谷大学では、2011年から復興支援ボランティアを続けています。これからも、一人ひとりの力は小さいけれど、みんなの力を合わせ、現地の人々が元気になっていくのを見守っていきたいと思います。今後も東日本復興支援ボランティアへの協力を、よろしくお願いいたします。

# 学生スタッフの活動報告

## ふかくさ 100 円商店街に協力 (深草) 11/23

今年で 6 回目のこのイベントは商店街の活性化事業の 1 つとして、深草商店街振興組合が主催しています。センターでは一昨年の第 1 回からボランティア協力を行っています。今回は計 72 名にも及ぶ龍大生がボランティアとして参加し、イベントの企画から補助まで幅広い面で関わらせていただきました。

## 深草児童館での防災劇 (深草) 12/7

深草地域の子どもからその親世代などの幅広い世代に、防災に関する知識を高めてもらうことを目的に防災劇を企画しましたが、深草ふれあいプラザが雨天中止となったため、深草児童館で上演させていただきました。学生扮する『防災戦隊ボラセンジャー』が災害時に困っている人を救うストーリーです。シーンで 1 問ずつ、3 問のクイズを織り込んだ劇は子どもたちにわかりやすく好評でした。劇のあとは、子どもたちと一緒に新聞紙スリッパを作り、防災についての啓発ができました。



## Let's ボランティア ～ボランティアしようよ♪～ (瀬田)

ボランティアに興味はあるけれど、センターに入るのは少し抵抗があるという学生に、学生スタッフがセンターを飛び出してこちらから声をかける企画です。4月、7月、11月の3回、それぞれ約1週間、瀬田キャンパス樹心館、青志館前で行いました。突然声をかけられとまどう学生達も、スタッフの熱心な呼びかけ、説明に耳を傾け、これがきっかけでボランティアの始める学生もいます。待っているだけではなく、こちらから積極的に動くことを学びます。

## おおつボランティア・市民活動フェスタ 2013 に 出展！ (瀬田) 11/19

ブースでは、大津祭や丸屋町商店街でのボランティア活動といった大津市内での取り組みや台風 18 号復旧支援ボランティアに関する取り組みについて展示しました。また、他団体のブースを訪問したり、『若者とまちづくり』のワークショップに参加し、参加者・参加団体と交流を行い「つながり」をつくることができました。

## くさつ子どもフェスタ 2014 (瀬田) 1/19

朝から雪がふりしきる荒天の中、『くさつ子どもフェスタ 2014』が開催され、龍谷大学から、100 人を超す学生がボランティアとして参加しました。雪の影響で、参加者が減ったということですが、運動場から体育館に会場を移して、1000 人を超す家族連れが一日大学生と様々な遊びや、踊りを楽しみました。ボランティア・NPO 活動センターからは、スライム作り、万華鏡作り、キャップであそぼう！の 3 つのブースを出店、他の団体のこままわし、木工細工、ウグイス笛、ストロートンボなどのブースにも学生が手伝いに行き、子ども達と楽しく遊ぶことができました。



伏見区役所深草支所で行われた「深草文化交流」で、活動紹介のパネル展示と防災グッズ作りを行いました。東日本大震災復興支援ボランティア活動だけでなく、昨年秋の台風18号復旧ボランティアの活動の様子も展示し、家財の整理や泥の掻き出しなどの体験を来場者に説明しました。身近な災害については来場者の関心が高く、質問が多く出ていました。今後、地域みんなで防災について考える機会が必要だと感じました。

新聞紙のコップやスリッパ、レジ袋の三角巾やおむつカバーなど防災グッズを作るコーナーでは「覚えておくためのなるわ」と喜ばれました。



## はじめの一步

月1回のボランティア  
始めてみませんか？



### ◆伏見区野宿者支援プロジェクト参加者募集！

伏見区内に流れている東・西高瀬川、山科川の河川沿いで生活されている野宿者の方を月1回訪問する活動です。

■活動日時：2月6日（木）15：00～19：00（予定） ■集合場所：ボランティア・NPO活動センター（深草）

※参加を希望される学生および教職員は、2月5日（水）17時までにセンター（深草）へご連絡ください。

応募者多数の場合はお断りすることがあります。3月の日程は2月7日以降にお問い合わせください。

※他にも募集中のボランティアが多数あります。ぜひセンターへお立ち寄りください。

（深草）：学友会館1階（月～金 8:45～17:15） TEL：075-645-2047 FAX：075-645-2064

（瀬田）：青志館横（月～金 9:00～17:30） TEL：077-544-7252 FAX：077-544-7261

## 春季体験学習プログラム（国内・海外）まもなく実施！

フィリピンへ8名・カンボジアへ7名・智頭へ15名

	テーマ	訪問地	期間	人数
海外	フィリピンで学ぶピープル・パワー	フィリピン共和国	2014年3月5日（水）～3月12日（水）8日間	8名
海外	地雷畑から『平和』を考える	カンボジア王国	2014年3月2日（日）～3月9日（日）8日間	7名
国内	過疎の山村再生と、魅力的なまちづくりを学ぶ	鳥取県智頭町	2014年2月10日（月）～2月13日（木）4日間	15名

※学内企画海外（フィリピン共和国）は社会学部 笠井賢紀先生に、国内（智頭町）は政策学部 清水万由子先生に、それぞれ引率いただきます。

※終了後は、各プログラムに参加した学生が学んだことや感じたことを発表する機会として、4月下旬に合同報告会を行います。HPやチラシなどで案内しますので、ぜひ関心のある学生にご案内ください。

【発行責任者】 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 筒井のり子  
 ホームページ：<http://www.ryukoku.ac.jp/npo/> 深草（内線1490） 瀬田（内線7252）  
 E-mail：[ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp)

深草キャンパス：〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 Tel:075-645-2047 Fax:075-645-2064  
 瀬田キャンパス：〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5 Tel:077-544-7252 Fax:077-544-7261